

週間市場レポート (2019年12月2日~12月6日)

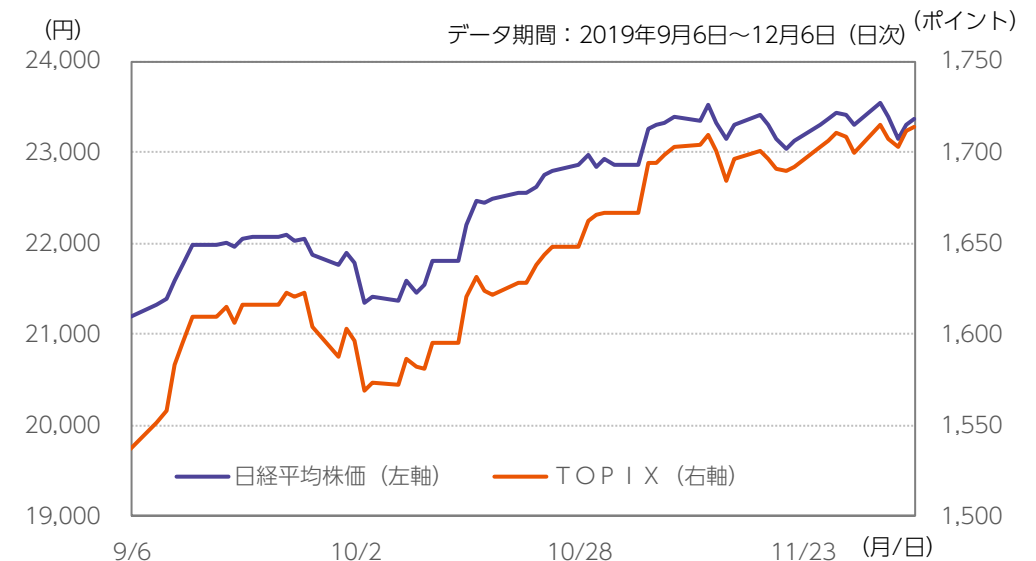
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2019/11/29	先週末 2019/12/6	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		23,293.91	23,354.40	0.26 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,699.36	1,713.36	0.82 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		28,051.41	28,015.06	▲0.13 ↘
S&P500種指数		3,140.98	3,145.91	0.16 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,703.58	3,692.34	▲0.30 ↘
S&P/ASX300指数		6,799.21	6,664.31	▲1.98 ↘
上海総合指数		2,871.98	2,912.01	1.39 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		801.26	805.99	0.59 ↗
東証REIT指数		2,219.74	2,183.42	▲1.64 ↘
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		779.27	776.77	▲0.32 ↘
ASX300 REIT 指数		1,653.00	1,629.00	▲1.45 ↘
グローバルREIT (除く日本)※		200.63	199.98	▲0.33 ↘
日本10年国債 (%)		▲0.07	▲0.01	0.07 ↗
米国10年国債 (%)		1.78	1.84	0.06 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.36	▲0.29	0.07 ↗
英国10年国債 (%)		0.70	0.77	0.08 ↗
ドル/円		109.49	108.58	▲0.83 ↘
ユーロ/円		120.61	120.18	▲0.36 ↘
英ポンド/円		141.51	142.69	0.84 ↗
豪ドル/円		74.04	74.27	0.31 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1,716.85	1,724.21	0.43 ↗
WTI原油先物 (ドル)		55.17	59.20	7.30 ↗
CRB指数		176.66	181.19	2.57 ↗
アレリアンMLP指数		1,049.59	1,043.94	▲0.54 ↘

2) 日本の株式・債券市場

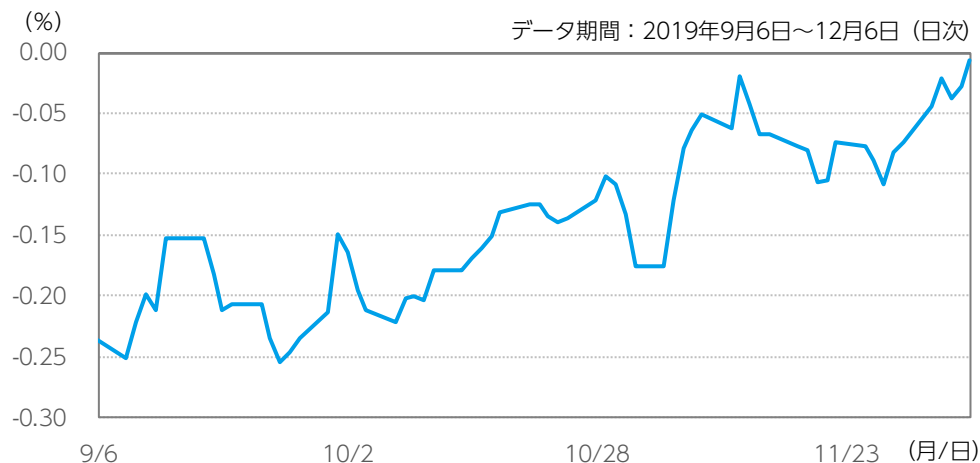
≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇となりました。週初は、前週末に公表された堅調な中国経済指標から同国の景気減速懸念が後退したことなどを受け3営業日ぶりに反発し、約1年2カ月ぶりの高値を付けました。米経済指標の悪化による米国株式市場の下落の流れを受け週中は下落となったものの、週末は、大型の経済対策が閣議決定され、景気刺激への期待感から上昇しました。



≪ 債券 ≫

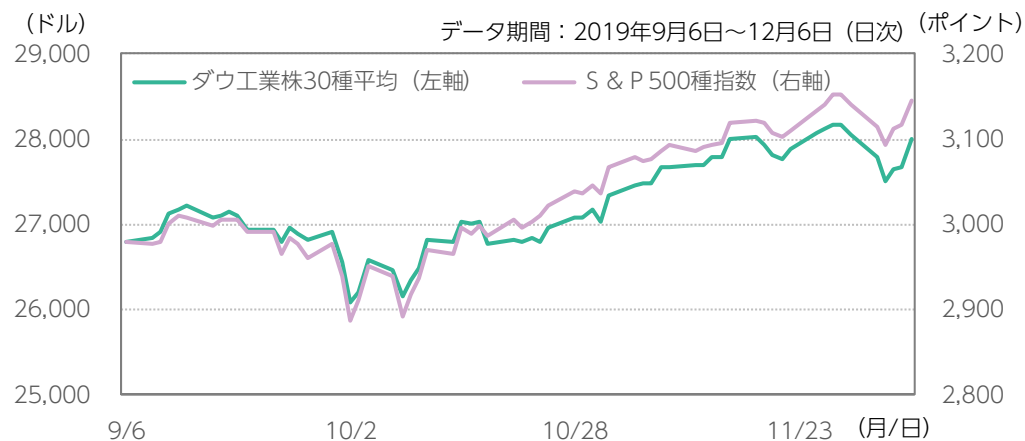
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。財務省が実施した国債入札の結果が需要が乏しい低調な結果であったことから、需給のゆるみを警戒した売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

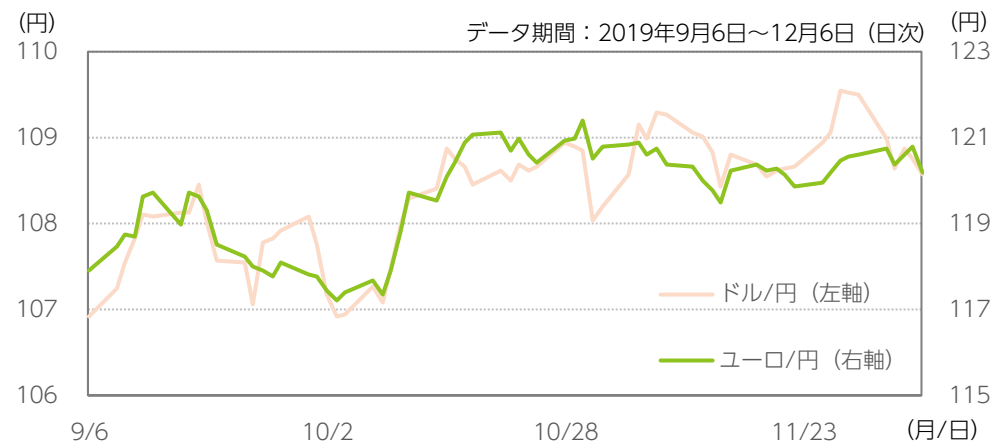
米国株式市場（NYダウ）は前週末比で小幅な下落となりました。11月のISM米製造業景況感指数の悪化を受けた米景気後退懸念の高まりから、週初は下落となりました。その後は、米中貿易協議の進展期待や堅調な米雇用統計の結果などを受け上昇したものの、週間では小幅な下落となりました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。米国の景気減速懸念の高まりや、米中貿易協議の動向などを受けた投資家のリスク回避姿勢の高まりから、週を通じて相対的に安全資産とされる円は買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米国の景気後退懸念の高まりや、米中貿易協議の進展期待などを受け週を通じて一進一退の展開となり、日本株式は前週末比で小幅に上昇、米国株式は小幅に下落となりました。

今週は、米欧の金融政策の決定会合を控えています。米欧ともに現状維持とみられているため、市場の注目は、15日（日）に予定されている米国の対中制裁関税第4弾が発動されるか否かになりそうです。今週の株式市場は、米中両国の要人の発言など米中貿易協議の動向を受け一進一退となり、方向感の出にくい展開となりそうです。

ただし、対中制裁関税の延期など、米中貿易協議において進展が見られた場合などには、株式市場は大きく上昇するとみられます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>